

見どころ

## 文化財

旧大井村役場 MAP E-5

大井小学校校庭の一角に建つこの建物は、大正から昭和初期にかけて全国的に流行した官公庁建築形式の建物で、昭和12年から46年まで大井町(村)の役場庁舎として使用されていました。県内でも、建築当時の姿をとどめる数少ない文化財として貴重な存在で、平成14年2月14日に国の登録有形文化財になりました。

地蔵院 MAP E-4

鎌倉時代、亀久保一帯を支配した二階堂氏がここに館を構えていたと伝えられています。境内には樹齢300年以上と推定される、市指定天然記念物の「しだれ桜」があります。

福岡河岸記念館 MAP F-1

市指定文化財・福田屋(回漕問屋)の建物を福岡河岸記念館として保存・公開しています。館内は、三階建「離れ」や主屋等江戸時代から昭和初期まで江戸(浅草)と当地方を結んでいた新河岸川舟運の船問屋(明治時代)の様子を再現し、文庫蔵内部の展示室では舟運と問屋の暮らし、十代目当主星野仙蔵氏の功績等を展示しています。



開館時間/午前10時~午後4時(5月~9月は午後4時30分まで開館)  
休館日/月曜日(祝日にあたるときも休館)・12月27日~1月4日  
入館料/大人=100円(20人以上の団体は1人80円) 小・中・高校生=50円

東台金山公園 MAP F-5

東台遺跡は、縄文時代中期の大集落と県内でも屈指の規模を誇る奈良時代の大規模な製鉄遺跡です。発掘された製鉄炉は、ここに移設復元されています。

権現山古墳群 MAP F-2

新河岸川沿いにある権現山古墳群は、古墳時代初めにつくられた前方後方墳1基と方墳11基からなる古墳群です。同時期の古墳群は県内でも少ないうえ、権現山2号墳のように墳丘が残っているものは珍しく、古墳時代の始まりを知ることができる貴重な遺跡であることから県指定史跡となっています。

人物埴輪 MAP F-1

ふじみ野市で初めて出土した人物埴輪です。古墳時代後期(6世紀)のハケ遺跡古墳群で発見された4基の円墳のうちの1号墳から出土したものです。調査の結果、人物埴輪は6世紀前半から中頃のもので、少なくとも7体以上が見つかっています。その中には頭に髷(まげ)を結び耳飾りをつけた女性や、頭に帽子のようなものを被った男性、坏(つき)という器を持った手などがあり、さまざまな種類の人物埴輪が古墳に並べられていた様子をうかがうことができる貴重な資料です。

